

2013年5月

『広報の学校』名古屋開催
入門危機管理広報講座のご案内
《6月28日(金)》

広報の学校
共同PR(株)スクール・セミナー事業部

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本では一昨年の未曾有の東日本大震災、福島原発事故以降、ますます危機管理の重大さを身にしみて感じる日々が続いています。一方、内部告発、不祥事発覚も相次ぎ、『ユーチューブ』、『フェイスブック』、『ツイッター』といったソーシャルメディアが危機管理に大きな影響を与えるようになりました。日本企業でもコンプラ違反、機密情報漏洩問題を始め、不祥事、欠陥商品、事故、個人情報漏洩、内部告発問題などが多発する状況が続いています。近年、企業を取り巻く環境が激変する中、リスク要因が多様化し、危機に直面するケースが急激に増加しています。しかも、企業が危機管理(メディア対応)で失敗し、重大なダメージを被る事例が相次いでいます。

危機管理に対する関心が急激に高まり、危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション(危機管理広報)がブランド維持とダメージ軽減に大きく寄与する重要性が認識されながらも、実際には、では具体的にどうすればいいのかと悩む企業の担当者が多く存在します。

万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうか
具体的に緊急時のメディア対応はどうか

本講座はこのようなニーズに応じて企業・団体の広報、総務、危機管理の責任者・担当者を対象にした、危機管理の基本と実践的なノウハウを修得する危機管理面の対応能力向上のための専門研修講座です。

危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加いただけますようご案内申し上げます。

敬具

広報の学校
『入門危機管理広報講座』実施要領

対象者：広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者。

本講座の特色

1. 具体的な事例研究(事故、ネットリスク)と実践的対策
2. 最近の企業不祥事の傾向(トレンド)と今後の方向性

3. 危機管理の基本(基礎)から具体的なクライシスコミュニケーション(危機管理広報=メディア対応)の実務知識、スキルの修得
4. 簡易演習(受講者参加型の実践的研修)の実施
5. クライシスマディアトレーニングの実施ノウハウの修得

日時 2013年6月28日(金) (AM10:00~PM6:00)
講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。
講師 篠崎 良一 共同PR(株)副社長
会場 栄ガスビル会議室
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目15-33
東邦不動産(株) 栄ガスビル5F 503号室
052-732-3211

定員 35名
受講料 3万円『消費税、昼食、レジメ・資料代含む』
申し込み 受講申込書に記入の上、FAX下さい。
FAX送付先 03-3571-5183(広報の学校『入門危機管理広報講座』係)
締切り 6月24日(月)
申し込み順、定員になり次第締切りとさせていただきます。
受講料支払い 下記の口座にお振込み下さい。
三菱東京UFJ銀行 銀座通支店 共同ピーアール株式会社
普通口座 0656224

参加者が少数の場合、実施しないこともございます。(受講料は返金いたします)
請求書が必要の方は申込書にご記入下さい。
受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。
申し込みされた方が都合で参加できない際の代理出席は可能です。

キャンセルは必ず6月25日までにご連絡ください。

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル
共同PR(株)スクール・セミナー事業部『広報の学校』篠崎・浅沼
TEL. 03-3571-5159
FAX. 03-3571-5183
<http://www.kouhou.jp/>
ipr@kyodo-pr.co.jp

＜入門危機管理広報講座カリキュラム＞

6月28日(金) AM10:00～PM6:00

日 時	講義テーマ	内 容
講義 10:00～12:00	事例研究(事故) ソーシャルメディアリスク事例と対応	経緯 / 初期対応分析 / 緊急記者会見分析 / 対策強化 / コーポレートブランド維持へのプロセス / 問題点 / 総合評価と教訓 ネットリスク事例 / 炎上テーマ / 炎上に至るパターン / 拡大パターン / 必要な要素 / 影響のバロメーター / リスク対応プロセス / 対応のポイント / 炎上の企業リスク / 未然防止策 / 炎上対策 / 電凸対応
12:00～13:00	昼 食	
演習 13:00～14:00	< 演習 > 簡易シミュレーション	各自でリスクシナリオを読んで(キーメッセージ / Q & A / ステートメント)を作成
講義 14:10～15:40	危機管理の基本	企業不祥事の5つのトレンド / 危機管理の目的 / リスクとクライシス / 4つのリスク対応 / リスク評価 / 危機管理広報とブランド回復プロセス / なぜ失敗するのか / 平常時広報と危機管理広報の違い / プロセス / 5つのダメージ / 企業批判の三分野 / 危機管理の基本
15:40～16:00	休 憩	
講義 16:00～18:00	危機管理広報	危機時の広報担当者の業務 / マスコミの企業不祥事への視点 / 電話対応のポイント / 対面取材のポイント / 緊急記者会見の必要なケース / 緊急記者会見の意味と基本原則 / 避けるべき失言 / 出席者の注意 / コメントの注意 / 態度 / Q & A作成のポイント

講師 = 篠崎 良一 共同PR株式会社 常務取締役

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同PR(株)入社。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当、2013年1月よりPR総研所長を兼務。2003年5月より『広報の学校』事務局長兼主任講師。

企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP 広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニングを担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。

企業、行政、各種団体の講演、セミナー、研修講師を数多く実施。

著書に『実戦企業広報マニュアル』<韓国版が2004年に刊行>、『会社を守る！もしものときのメディア対応策』(共にインテックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概論』(共著、同友館)、『広報・PR実務』(監修・共著、同友館)他がある。日本広報学会理事、日本PR協会日本コーポレートガバナンスネットワーク、各会員。(社)日本PR協会認定資格『PRプランナー』試験委員。

FAX . 03 - 3571 - 5183

キャンセルは必ず6 / 25までにご連絡ください。

広報の学校「入門危機管理広報講座」申込書

日 時 = 2013年6月28日(金) AM10:00 ~ PM6:00

会 場 = 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目15-33

東邦不動産(株) 栄ガスビル5F 503号室

052-732-3211

申込日 2013年 月 日

御社名		電話	
御住所 〒		FAX	
		Eメール	
御名前		部署・役職名	
請求書	要() 不要()	請求書宛先	
備考			

参加お申込みはFAXでお願いいたします。

FAX送付先 03 - 3571 - 5183

共同PR(株)スクール・セミナー事業部「入門危機管理広報講座」係

お申し込みされたご本人が参加できない場合の代理参加は可能です。

受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。

受講証を参加者宛にご送付いたします。